



ダムニュース

[法人名] 一般財団法人ダム技術センター
[郵便番号] 〒110-0008
[住所] 東京都台東区池之端2-9-7池之端日殖ビル2F
[電話番号] 03-5815-4161
[FAX] 03-5815-4162
[ウェブサイト] <http://www.jdec.or.jp/>
[電子メール] damnews@jdec.or.jp

この号の内容

- 1 Dam news 投稿記事募集
- 2 フォトコンテスト作品募集
- 3 「ダム技術 7月」の目次
- 4 図書販売



灰塚ダム(河野 将幹氏 撮影)

Dam news 投稿記事募集

『ダムニュース』編集事務局では、下記のようなあらゆる情報・話題を広く募集しております。

内容等につきましては特に問いませんので、下記を参照の上、**積極的にご投稿くださいますようお願い申し上げます。**

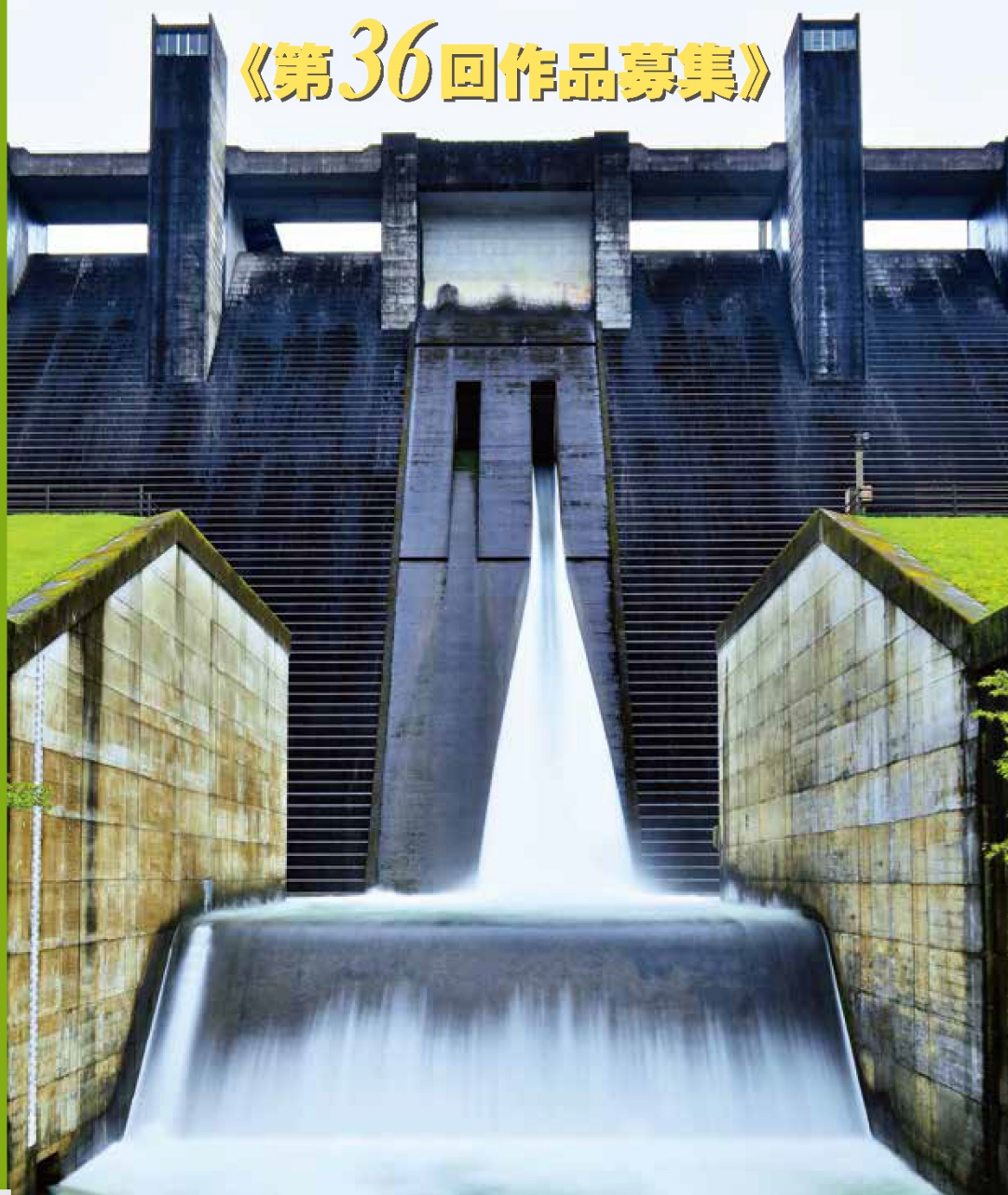
1. イベントの開催通知・報告（水の週間、サマーカーニバル、花火大会、コンサート等）
2. 小学生等によるダム見学会についての報告（絵・感想文等）
3. ダム所在地等における伝統的な行事の紹介（祭り等）
4. ダム事業に関するPR 活動の紹介（パンフレット、ポスター等）
5. ダム周辺の自然紹介
6. ダム周辺の観光レクリエーション活動の紹介（スポーツ大会等）
7. 研究会・講演会・シンポジウムの開催（通知・報告）
8. 水害・地震等報告
9. ダム資料館・交流館等の紹介

なお、ご不明な点及び執筆にあたっての要領等につきましては、下記担当までご連絡ください。

※ダムニュースの配信先変更や配信停止などのご希望がありましたら、ダムニュース編集事務局までご連絡をお願い致します。

[法人名] 一般財団法人 ダム技術センター『ダムニュース』 編集事務局
[郵便番号] 〒110-0008
[住所] 東京都台東区池之端2-9-7 池之端日殖ビル2F
[担当者] 企画部 ダムニュース担当
[電話] 03-5815-4161
[FAX] 03-5815-4162
[電子メール] damnews@jdec.or.jp

《第36回作品募集》



ダムフォトコンテスト

風景の中のダム～ダムと自然と人々と～

第35回ダムフォトコンテスト
受賞作品「中崎川ダム」
撮影者：三池 啓博

“ダム”をテーマとした写真であれば、あらゆる作品大歓迎！
皆様からの多数のご応募をお待ちしております。

応募先及びお問合せ先



ダム技術センター

<http://www.jdec.or.jp>

〒110-0008 東京都台東区池之端2-9-7 池之端日殖ビル2F
(一財)ダム技術センター ダムフォトコンテスト係 担当 北谷 佳崇

TEL.03-5815-4161(代) FAX.03-5815-4162

ダムフォトコンテスト

風景の中のダム～ダムと自然と人々と～

《第36回作品募集》

応募要項

「ダムフォトコンテスト」は、写真を通じて、**ダムの役割やダムと周辺環境との調和**などを一般の人々に知っていただくことを目的として開催しており、**令和3年度で36回目**の開催となります。

下記応募要領により募集いたしますので奮ってご応募くださるようお願いいたします。

1. 「ダム」をテーマにした写真で、ダム堤体もしくは関連構造物が写っているものが対象です。ダムの工事中、完成を問いません。**ただし、砂防ダムは除きます。**
2. 写真は、1月から12月までの月毎の季節感(桜、紅葉、雪景色等)のあるものをお願いします。
3. 写真の場合は六切または四切判(ワイド四切可)のカラープリント(光沢紙)でご応募ください。
4. デジタル画像(600万画素以上)の場合はA4版カラープリント(光沢紙)でご応募ください。なおコンピュータにて画像処理されたものは応募できません。
5. 連続写真、組写真、日付の入っているものは応募できません。

◆ 応募資格／制限はありません。

◆ 応募票／下記①～⑤を明記した応募票(様式任意)を作品の裏面に必ず貼り付けて下さい。①氏名・年齢・自宅の住所・電話番号・職業 ②ダム名及び所在地 ③写真について簡単なコメント ④撮影年月日 ⑤応募動機(ポスター、チラシ、ホームページ、ダムイベント、知人からの紹介等)

◆ 応募作品数／1人5作品までとします。

◆ 締め切り／令和3年9月30日(木) 消印有効

◆ 応募作品／原則として返却いたしません。

◆ データ・フィルムの提出／入賞作品については、ご通知後JPEGデータまたはネガフィルム・ポジフィルムをご送付願います。

◆ 応募作品の帰属／応募作品は応募者本人が撮影し、すべての著作権を有しているもので、過去未発表のものに限ります。応募作品の著作権及びその他の関係する権利は(一財)ダム技術センターに無償で移転、帰属し、当センターが無償で広報等(フォトコンテストポスター(リーフ含む)、機関誌「ダム技術」の表紙、ホームページ等)に使用することがありますので、あらかじめご了承ください。

◆ 肖像権／被写体に人物が入る場合は、本人の承諾を得た上でご応募ください。肖像権侵害等の責任は当社は負いません。万一、応募作品について、第三者と紛争が生じた場合は、応募者ご自身の責任と費用負担によって解決するものとします。

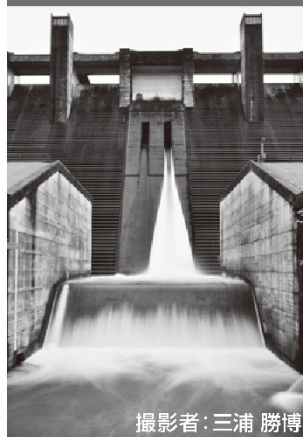
◆ 入選作品／① 応募作品のうち、13作品(ダム技術表紙及びホームページにてダウンロードするカレンダーの1月～12月の12枚と次年度用募集ポスター1枚として)を入選作品として選考します。

◎最優秀賞(1点) ○審査員特別賞(1点) ◆優秀賞(3点)

★佳作(8点) ② 審査は(一財)ダム技術センターが依頼する審査員により行います。③ 入選の方には10月下旬頃、本人に直接連絡するほか、「(一財)ダム技術センター ホームページ」及び「ダムニュース」令和4年1月号にて発表します。(第35回ダムフォトコンテスト入賞作品は、ホームページで紹介しています)

◆ 受賞者への賞品／最優秀賞には、30,000円相当の賞品。審査員特別賞には、15,000円相当の賞品。優秀賞には、10,000円相当の賞品。佳作には、5,000円相当の賞品。

第35回ダムフォトコンテスト受賞作品



撮影者：三浦 勝博

なかつがわ

中筋川ダム

1982年度着工
1998年度完成



河 川：渡川水系中筋川

位 置：高知県宿毛市平田町大字黒川地先
N32°55'38" E132°48'38"

目 的：洪水調節(F)、流水の正常な機能の維持(N)、農業(A)、上水道(W)、工業(I)

型 式：重力式コンクリートダム

堤 高：73.1m

堤頂長：217.5m

堤体積：274,000m³

総貯水容量：12,600,000m³

中筋川ダムは、平成11年に完成した国土交通省四国地方整備局が管理する重力式コンクリートダムで、一級河川四万十川の一次支川である中筋川に建設されたダムです。

中筋川ダムは、景観設計が導入されたダムで、地域の人々や中筋川ダムを訪れる人たちへ、身近な学習の場・憩いの場を提供し、誇りとなるようなランドマークの形成を目指したダムです。

最大の特長は堤体下流面が高さ75cm85段の階段状になっているところです。越流水の勢いを押さえながら豊かな表情を持った堤体下流面となっており、運が良ければ中筋川ダムならではの「洗浄放水」を見ることが出来ます。

応募先 及び お問合せ先

 **ダム技術センター**
<http://www.jdec.or.jp>

〒110-0008 東京都台東区池之端2-9-7 池之端日殖ビル2F
(一財)ダム技術センター ダムフォトコンテスト係 担当 北谷 佳崇
TEL.03-5815-4161(代) FAX.03-5815-4162

ダム技術

JULY
2021

No. 418

目次

巻頭言 東北地方整備局におけるダム建設とDXの取り組み

(前)国土交通省東北地方整備局長 梅野 修一

講座 ダムに関する技術の系譜 第8回—貯水池水質保全技術（気泡循環）

国立大学法人 鹿児島大学特任准教授

NPO 風土工学デザイン研究所理事

古里 栄一

一般財団法人ダム技術センター首席研究員

NPO 風土工学デザイン研究所 NPO 代表

川崎 秀明

流水の減勢（2）跳水式減勢工の設計（1）

一般財団法人ダム技術センター顧問 高須 修二

現場報告 鬼怒川五十里ダム堰堤改良による取水放流設備の新設事業について

国土交通省関東地方整備局下館河川事務所管理課

(前)国土交通省関東地方整備局鬼怒川ダム統合管理事務所管理課

中田 明宏

横瀬川ダムにおける試験湛水報告

国土交通省 四国地方整備局 松山河川国道事務所 西条国道維持出張所 管理第二係長

(前)国土交通省 四国地方整備局 渡川ダム統合管理事務所 管理課

星川 菜津美

文献紹介

ダムニュース

編集事務局から

第36回「ダムフォトコンテスト」応募要領

図 書 販 売

1. ダム技術
 - ・月刊誌 A4 判 12 部/年 年度契約（定期購読申込）
令和3 年4 月号（No. 415）～令和4 年3 月号（No. 426） 1,260円（税別・送料込）
2. 多目的ダムの建設 平成17年版（全7巻）
 - ・平成17 年 6 月発行 A4 判 88,200 円（税込・送料別）
3. RCD工法技術の進歩
 - ・平成17 年 12 月発行 A4 判 4,500 円（税込・送料別）
4. ダムの安全管理
 - ・平成18 年 5 月発行 B5 判 2,000 円（税込・送料別）
5. 台形CSG ダム施工・品質管理技術資料
 - ・平成19 年 9 月発行 A4 判 2,000 円（税込・送料別）
6. 地質現象とダム
 - ・平成20 年 6 月発行 A4 判 7,000 円（税込・送料別）
7. 改訂3版 コンクリートダムの細部技術
 - ・平成22 年 8 月発行 A5 判 6,000 円（税込・送料別）
8. 改訂版 巡航RCD工法施工技術資料
 - ・平成24 年 2 月発行 A4 判 2,000 円（税込・送料別）
9. 台形CSG ダム設計・施工・品質管理技術資料
 - ・平成24 年 6 月発行 A4 判 3,000 円（税込・送料別）
10. ダム基礎における立体的岩盤透水性分布の把握手法
 - ・平成25年 5 月発行 A4 判 5,000 円（税込・送料別）
11. ダム技術Q&Aー総集編ー改訂版 I
 - ・平成27年3月発行 A4判 3,000円（税別・送料別）
12. ダムの地質調査ーボーリング・調査坑・トレンチー
 - ・平成27年3月発行 A4判 6,000円（税込・送料別）
13. ダム工事積算の解説（平成28年度版）
 - ・平成28年5月発行 A4判 2,500円（税込・送料別）
14. RCD工法施工技術資料
 - ・平成31年3月発行 A4判 5,000円（税込・送料別）
15. 岩盤画像の取得と活用
 - ・令和3年3月発行 A4判 7,000円（税込・送料別）

書店では販売をしておりません。

お申込みは、ダム技術センターへ、FAXまたはE-mailをご利用下さい。

申込用紙の形式は定めておりませんが、参考形式が必要な方は、当センターホームページにて、出版物の項目よりPDF形式でダウンロードする事が可能となっております。

[法人名] 一般財団法人 ダム技術センター 図書販売

[郵便番号] 〒110-0008

[住所] 東京都台東区池之端2-9-7 池之端日殖ビル2F

[担当者] 図書販売担当

[電話] 03-5815-4161

[FAX] 03-5815-4162

[電子メール] books@jdec.or.jp

図書注文書

一般財団法人ダム技術センター図書販売担当宛

FAX (03-5815-4162)

下記のとおり注文します。

No	書籍名	部数
1		
2		
3		

*公/私どちらかに○をお付け下さい。 公→宛名（会社名） 私→宛名（申込者名）となります。		公・（宛名（会社名）） 私・（宛名（申込者名））	
申込者 （ご氏名）	ふりがな		
会社名			
事務所名・ 部署名			
所在地	（〒 - ）		
TEL		FAX	
E-mail			
通信欄			

- ◆ご注文の商品は、3 日～10 日程度でお手元に届きます。
- ◆請求書、納品書、見積書は、商品とは別途郵送にてお届けいたします。（到着日は、商品と1 日程度誤差あり）
- ◆代金お支払いについて、郵便振替時の手数料は当センターが負担いたします。なお、銀行振込でお支払いされる場合には、お手数ですがお振込日・お取扱銀行・請求書番号(請求書右上)・金額を必ず書面(FAX もしくは通知状)にてご通知下さい。
- ◆銀行振込の手数料は、お客様のご負担となります。ご通知がない場合、代金が振り込まれても未払い扱いとなり、後日再請求する可能性があります。ご協力のほど、よろしくお願いいたします。
- ◆特定の様式による請求書等をご希望の際は、注文書、指定請求用紙などを同封の上、郵便もしくはFAX、E-mail等にて上記の問い合わせ先にお申し込み下さい。なお、郵便によるご注文の場合、商品到着までに通常より日数がかかりますのでご了承下さい。

[法人名] 一般財団法人 ダム技術センター 図書販売

[郵便番号] 〒110-0008

[住所] 東京都台東区池之端2-9-7 池之端日殖ビル2F

[担当者] 図書販売担当

[電話] 03-5815-4161

[FAX] 03-5815-4162

[電子メール] books@jdec.or.jp